

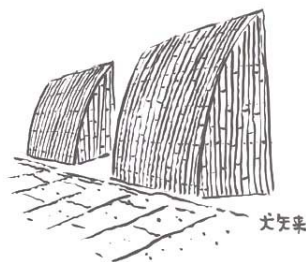
新年あけましておめでとうございます。

今年からタイトルを「**建築あれこれ**」とさせていただきます、住まいのみならず、より広範囲なお話もさせていただければと思っております。さてご周知のように、昨年は耐震計算書偽造問題という建築にかかわる重大な問題が発生致しました。私も建築設計に携わる人間としてはもちろんのこと、阪神大震災を経験した一人の人間と致しましても、あまりにもモラルを欠いた行為に断腸の思いでありました。建物は、安全でかつ健全でなければなりません。そのことをあらためて心に強く刻み、この一年精進してまいります。

さて、今年は戌年なので、犬にちなんだ建築用語のあれこれ。

犬走り・・・建物の周囲や軒下を石やコンクリートで敷き固めた部分のことです。ちなみにキャットウォーク (catwalk) とは、高い部分に架かる保守点検用の狭い通路のことです。

犬矢来 (いぬやらい)・・・建物の腰や塀を保護するため、割竹を曲げて作った囲いのことで、今でも京町屋によくみかけられます。矢来とは、入るのを防ぐという意味で、「駒防ぎ」ともいわれます。(イラスト有り)



犬防木 (いぬふせぎ)・・・神社仏閣において、内陣と外陣の境の格子。また建物の前に設ける低い柵のこと。

これ以外にも「犬除け」などいくつかありますが、共通しているのはこの言葉の発生の頃は、犬はどうやら野良犬か野犬で、あまり好かれる存在ではなかったようです。

今では、ほとんど家族同然となっているので、ずいぶん待遇があがっているので、今の犬には少々失礼かもしれません。

では、今年もどうぞよろしくお願ひします。